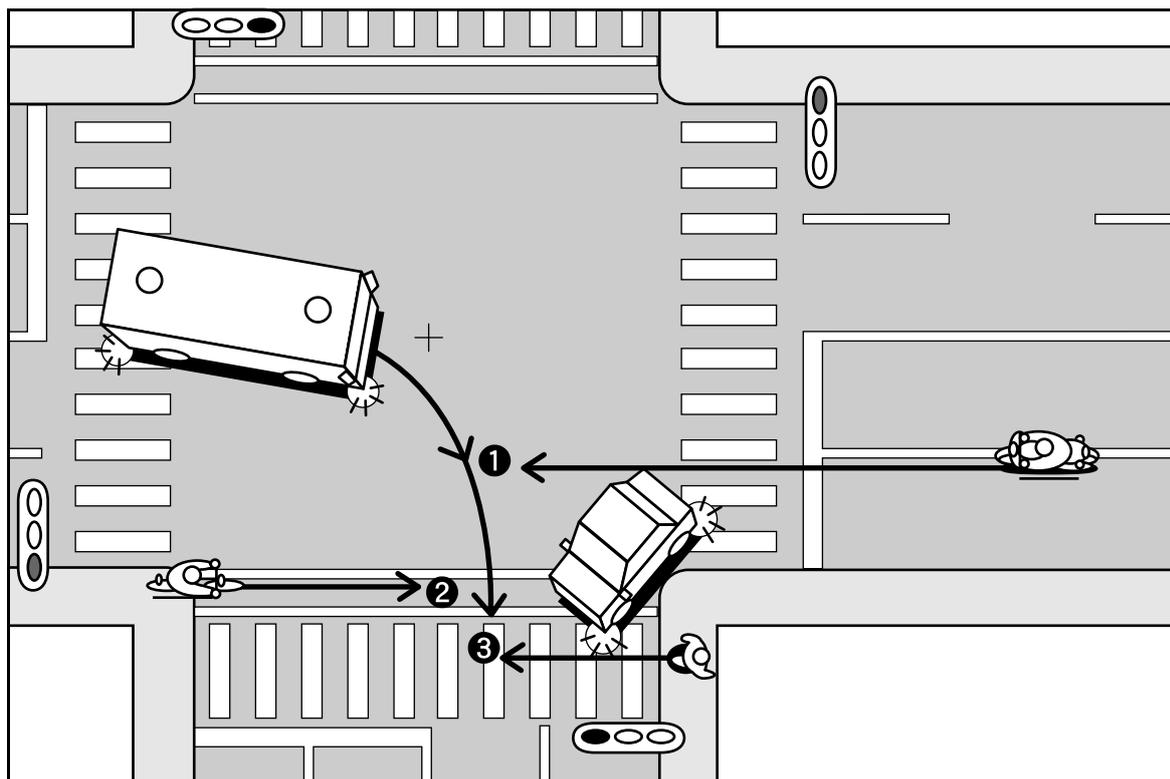


〔バス5〕交差点の右折



1．主な危険要因の例

- ① 対向直進二輪車が接近しており、このまま右折していくと衝突する危険がある。
- ② 横断歩道の右側から渡ってくる自転車に気づくのが遅れると衝突する危険がある。
- ③ 対向左折車の向こうに歩行者を見落とすと、はねる危険がある。

2．安全運転の例

対向車が接近しているときは右折をせずに、対向車の通過を待ち、安全が確認されてから右折する。

右折していくときは、横断歩道の状況(右側からの自転車や歩行者)をしっかりと確認する。

対向左折車が横断歩道の手前で停止していると、その向こうの歩行者が見えにくくなり見落とす危険があるので、対向左折車が進行を待って自車も進行する。

3．乗務員指導のポイント

二輪車は車体が小さいため、その速度を実際よりも遅く感じたり、二輪車との距離を遠くに判断しやすく、それが右折時の二輪車との衝突事故の原因の一つになっていることを理解させ、強引な右折はしないよう指導する。

対向左折車があるとその向こうの歩行者が見えにくくなるなど、交差点は死角が多いことを理解させ、確実な安全確認を行うよう指導する。